

県協会だより

事業本部

事業本部長 濱橋 喜幸

新型コロナウイルス感染拡大の影響により大会中止相次ぐ

日頃は当協会事業にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

2021年度は4月頃から新型コロナウイルス（変異株）感染者が次第に増えて行き、7月から8月末にかけて全国レベルでは19都道府県には「非常事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」が発令され、県内でも感染者が増えていき感染者数を更新していくような状況が続きました。この影響で予定されていた大会を含めた事業を中止せざるを得ませんでした。東京オリンピック・パラリンピックは賛否両論ありましたが、何とか開催にこぎつけ、オリンピック・パラリンピック共に過去最多のメダル獲得数を記録し、良い成果を収めました。バドミントン競技については銅メダルが1個と期待されたほどの成果は上げられませんでした。各選手ともによく頑張ったと思います。

そのような中、鳥取県民体育館、鳥取産業体育館、倉吉体育文化会館の3会場で開催予定しておりました第64回全日本社会人バドミントン選手権大会も、ぎりぎりまで開催を前提に準備を進めましたが、本大会開催の2週間前に福浜会長、源理事長と3名で鳥取県庁を訪問し、「鳥取県地域づくり推進部スポーツ振興局スポーツ課」、「鳥取県生活環境部くらしの安心局くらしの安心推進課」、「鳥取県教育委員会事務局体育保健課」、「鳥取県スポーツ協会」等をそれぞれ訪ね、ご意見をお聞きしたところ高校生の補助員としての協力が得られないことと、非常事態宣言、まん延防止等重点措置の8月末までの延長が決定したことを受け、日本バドミントン協会と協議し中止とすることとしました。また、12月5日に予定しておりましたS/Jリーグ2021鳥取大会も、S/Jリーグ全体の開催時期が延期になったことにより鳥取大会は会場確保が出来ず、やむなく中止となりました。

ご協力いただいた各市町村協会・部会・連盟の関係者の皆様、広告協力を頂きました関係企業様、鳥取県協会の役員の皆様、2019年度から準備を進めてきましたが、足掛け2年間の準備期間に多くの関係者に時間を割いていただき誠にありがとうございました。また、既に購入手配をしておりキャンセルが出来なかったスタッフウェア（ポロシャツ、Tシャツ）の購入及び斡旋販売のご協力に対して心よりお礼申し上げます。まだ販売をしていますので希望者は事業本部の濱橋までご連絡いただければと思います。

今年度は全国大会以外にも県内開催予定の中国大会が3大会（第42回中国中学校選手権大会、第38回中国地区小学生選手権大会、第31回中国地区教職員選手権大会）あります。8月開催予定の中学校選手権大会は予定通り開催できましたが、10月初旬予定の小学生選手権大会は中止となりました。12月に予定しております教職員選手権大会は現在検討中という段階です。

県協会だより

10月1日には19都道府県で実施されていた緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除され、全国的に経済活動が活発化していくわけですが、残された県内大会及び諸事業が計画通り開催できるように、新型コロナウイルス感染状況を見ながら可能な限りコロナ対策を講じていきたいと考えておりますので皆様のご協力をよろしくお願いします。

強化本部

強化副本部長 長濱 洋次

普及事業「親子 de バドミントン」をスタート

日頃より強化本部事業にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

強化本部の体制はご承知の通り強化と普及指導の2部体制からなりますが、これまでは強化事業にウエイトを置いた要員と活動でした。しかし、12～3年後の2巡目国体が決定した今、若手有望選手の発掘・人材育成は、中長期的視点に立ったMission（目的）・Vision（目標）・Strategy（戦略）のもと、協会一丸となって事業を進めていく重要な時期に差し掛かっています。

そのような情勢の中、今年度、鳥取県スポーツ協会が新たな推進事業「親子 de スポーツ」を立ち上げたことを機に、普及指導部に計画申請を行っていただき、初の普及事業を実施することとなりました。

皮切りは、9月25日、鳥取産業体育館のサブアリーナを会場として、先着親子10組を対象とした「親子 de バドミントン」を開催しました。この事業目的は、「多望感を抱く子育て世代が身近な地域において、親子で気軽にスポーツと接する環境をつくることを目的とし、県の補助金を受けて鳥取県バドミントン協会が主催する」となっていますが、今回参加して頂いた未就学児童がバドミントンに更に興味をもち、バドミントン競技人口の裾野を拡げる潤滑剤役になってくれること、また、次国体の県代表選手として一躍を担う有望選手に繋がることを期待するものです。

カリキュラムは、以下の内容で行いました。

1. シャトルを使って、触れる・走る・投げるといった動きをしながら楽しむ
2. ラケットを持った感覚を実感する
3. ラケットにシャトルが当たる喜びを実感する

【カリキュラム1】



【カリキュラム2】



【カリキュラム3】



飽きて泣き出す子はいないだろうかと最初は心配しましたが、シャトル打ちの前の大きな風船を使って打たせるなど、飽きない工夫を随所に入れての2時間だったので、終わってみれば皆さん、怪我もなく笑顔で充実したお顔をされていました。

開催するにあたって、ポスターの作成や参加者募集にご尽力いただいた県レディース連盟山川会長や小学生連盟の皆様、そして講師を務めていただいた日本スポーツ協会公認指導者の山本理香さんには大変お世話になりました。有難うございました。

今年度は、東部・中部・西部で各2回、計6回開催することとしていますので、会員の皆様による参加者募集のロコミをお願いします。また、当協会ホームページに普及指導部のコンテンツ掲載欄を設けました。「親子 de バドミントン」の開催風景や今後の開催案内についても随時アップしていきますので、皆様の積極的なアクセスをどうぞよろしくお願いします。



【イベント終了後の記念写真 皆さんよく頑張りました！】

総務本部

総務本部長 植田 睦美

令和3年度鳥取県バドミントン協会役員に係るお知らせ

昨年、年頭からの新型コロナウイルスの災禍の中、当協会の運営に当たり日々ご尽力いただいている皆さま、また、ご理解ご協力の皆さまに心より感謝申し上げます。

さて、本年春に当協会顧問の中尾喬一様の訃報に接し、改めて故人の長きに渡る県協会へのご貢献を認識させていただいたところであります。

また、去る8月9日には、当協会理事、総務本部財務副部長の香田純子氏が享年67歳でその生涯をとじられました。亡くなる前日まで、全日本社会人の準備やバドミントン協会の様々な用務に腐心され、亡くなってなお、そのお心遣いに助けられている今日の私共です。心より哀悼の意を表すとともに、御礼、お悔やみを申し上げます。

故人の葬儀にあたりましては、県協会より弔慰を表し、心ばかりではありますが生花等お供えさせていただきますこと、ここにご報告申し上げます。

県協会だより45号は、コロナ禍で、大会、イベント等の開催制限の行われる中での発行となったことから、印刷物としての発行はせず、ホームページ掲載のみでのお届けとさせて頂くこととしております。